

REPORT 開催講座・展覧会レポート

川口市小・中・高校書きぞめ展覧会

日時：2025年2月6日(木)～2月11日(火・祝)
主催：川口市教育研究会書写研究部
川口市内の学校から選抜された書きぞめ作品が一堂に会する展覧会です。スタジオでは、県展進出を果たした作品も展示されました。例年大きな賑わいを見せる本展は、今年も会期中5000名を超える来場がありました。



圧倒される作品数!!

川口の図工美術まなび展

日時：2025年2月15日(土)～2月24日(月・振休)
主催：川口市教育委員会

川口市内で各種コンクールに入賞した児童・生徒の作品を展示しました。今年は「はみ出す力展」と合同開催し、絵画・イラスト作品を中心に158点が展示されました。どの作品も鮮やかな色合いで、画面いっぱいに描き込まれていました。



力作の数々が壁いっぱいに並びました。

全国各地の美術教育の取り組みを紹介。

はみ出す力展 vol.6
～授業の展覧会 2024～

日時：2025年2月15日(土)～2月24日(月・振休)
主催：武蔵野線沿線美術教育実践学習会「び会」
全国で実践されている図画工作・美術の授業をパネルと成果物(作品等)で展示しました。川口の実践事例も紹介された他、ホワイエには舞台背景画として作成された縦5m×横8mの巨大作品が堂々と展示されました。

オモチャたちのものがたり
たぐちてるひこの世界

日時：2025年3月20日(木)～4月6日(日)

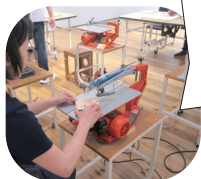
川口ゆかりの造形作家、田口輝彦さんの個展を開催。「物語」をテーマに、童話から出てきたようなかわいくてちょっと不思議な雰囲気の作品を展示しました。スタジオには、田口さんの作品を元に物語を考えるワークスペースを設置。100個を超える個性豊かな物語が生まれ、会場に展示しました。



どんな物語が生まれるかな？

親父の木工教室～我が子に与えるファーストイを自分の手で作ろう!～

2025年4月26日(土)
講師：小松 和人 (株)こまむぐ代表)
川口のおもちゃ作家、小松和人さんを講師に迎え、子どもにプレゼントするおもちゃを一から作る講座を開催しました。参加者は小松さんと交流しながら、時間いっぱい熱心に制作を楽しみました。終了後には「子供に渡すのが楽しみだ」という感想も聞かれ、笑顔のあふれる温かな講座になりました。



想いのこもった初めてのおもちゃづくり。

展覧会

ワークショップ

講座

日本画講座
～日本画の伝統技法を学び作品を描く～

2025年4月6日(日)、4月13日(日)

講師：須恵 朋子

※ゲスト講師：4/6(日) 西野入 礼 4/13(日) 高橋 希和

岩絵具や膠、胡粉など、本格的な日本画の画材や道具を使ってF3号サイズの作品を描く全2回の講座を開催しました。参加者は制作工程の多さに驚きながらも、丁寧に胡粉を練ったり、何層も色を重ねて深みを出す日本画の面白さを体験しました。



手間暇かけて描くことの楽しさ。

春の盆栽に出会う

日時：2025年4月12日(土)～4月20日(日)

外からも見通しの良いホワイエに、生命力あふれる春の盆栽を展示しました。樹齢200年を超える伝統的な松柏盆栽のほか、かわいらしい花ものや花台に飾った小品盆栽など、現代的な楽しみ方も紹介し、幅広い年代が訪れました。



いきいきとした盆栽を観賞しよう!

伝統盆栽に触れる・楽しむ

日時：2025年4月20日(日)

講師：飯村 誠史(盆栽 喜楽園)、針谷 冬美(はちす葉)
心地よい春の陽気のなか、屋外のウッドデッキで黒松の苗木を使ったミニ盆栽づくりの体験講座を開催しました。参加者は針金かけや剪定などの体験を通して盆栽の世界の奥深さにふれながら、自分だけのミニ盆栽を制作しました。



伝統的な盆栽師の技術を体験しよう。

アトリアのガラス窓に絵を描こう

2025年4月26日(土)～5月5日(月・祝)
講師：AKIYO

アトリアの窓ガラスに水で落ちるクレヨンで絵を描く自由参加型ワークショップを開催しました。参加者は講師のAKIYOさんが「空」をテーマに描いた気球や虹などのモチーフから連想して絵を描き足したり、大きな窓ガラスに自由にのびのびと絵を描く楽しさを体験しました。



大きなガラスいっぱいに描いてみよう!

こまむぐ展
～木のおもちゃと遊びの世界～

2025年4月26日(土)～5月6日(火・振休)

川口にある木製おもちゃの工房「こまむぐ」の展覧会を開催。代表作「どんぐりころころ」の他、どんぐりたちの住む巨大なお城や、これまでに制作されたたくさんのおもちゃが展示されました。会場に設置されたどんぐりを転がすための全長8mの坂など、一部のスペースでは実際におもちゃで遊ぶこともでき、多くの来場者で賑わいました。



かわいいおもちゃ大集合!!



月号では、7月に開催するテキスタイル作家2人による企画展「Collecting a Sky-風景を渡る糸-」を特集します。夏休みには自由にアート表現の実験ができるスペース開放も行いますので、ぜひアトリアでアートの夏を楽しんでくださいね!



アンドレア・マイヤーズ
「Tidal」(2024)



小林万里子
「はるばるの隙間から」
(2021)



アンドレア・マイヤーズ、小林万里子
「予兆-沈黙の春を超えて-」(2025)



「予兆-沈黙の春を超えて-」部分

アトリアオープンアトリエ

～いろいろな画材の

表現・実験をして

「アート」を楽しもう～

川口市立
アートギャラリー・アトリア
小学生向け
夏休み企画

参加費無料
事前申込不要

小学生を対象とした、「アートを楽しみ、実験する場」を提供します。自宅ではやりにくい夏休みのアート作品づくりや図工の宿題などを思いっきり表現することが出来る場所と、各画材などを提供します。



Schedule

- ① 7/29(火)～8/2(土)
 - ② 8/5(火)～8/9(土)
 - ③ 8/19(火)～8/23(土)
- 各日 10:00～16:00 休憩 12:00～13:00

※講師なし。スタッフ各日1～2名(簡単なアドバイスのみ対応)
※詳細(提供画材やルール等)はアトリアホームページをご確認ください。
※期間中1日～何回でも参加可能

EVENT アトリアの今後のイベント

展覧会

ワークショップ

講座

アトリアオープンアトリエ
～いろいろな画材の表現・実験をして「アート」を楽しもう～

日時：① 7月29日(火)～8月2日(土)
② 8月5日(火)～8月9日(土)
③ 8月19日(火)～8月23日(土)

小学生を対象に「アートを楽しみ、実験する場」を提供します。思いっきり表現することが出来る空間と、画材などを提供します。

令和7年度(第33回)水道ポスターコンクール展示会
日時：9月3日(水)～9月7日(日)
市内小学4年生による、水道に関するポスターの中から優秀作品を展示します。

企画展「Collecting a Sky-風景を渡る糸-」

日時：7月19日(土)～8月24日(日)

テキスタイル作家 小林万里子氏とアンドレア・マイヤーズ氏による展覧会。両氏の作品展示のほか、制作風景や地域との関わりも紹介します。



身近な廃材を使ってテキスタイルアートをつくろう

※企画展「Collecting a Sky-風景を渡る糸-」関連イベント

日時：7月26日(土) 講師：小林万里子、アンドレア・マイヤーズ

企画展「Collecting a Sky-風景を渡る糸-」のアーティストと交流し制作を楽しめるワークショップ。布製品の端材を活用して作品をつくります。制作した作品は展覧会期間中、会場に展示します。



日米アーティストが語る つくること・伝えること

※企画展「Collecting a Sky-風景を渡る糸-」関連イベント

日時：7月27日(日)

講師：小林万里子、アンドレア・マイヤーズ、国際文化会館職員

日米のテキスタイル作家が、それぞれの作品背景や大阪万博に向けた制作、そして文化をこえて育んできた交流について語ります。



SNS やってます!

企画展やワークショップ、イベント等、アトリアの最新情報はこちらをチェック!



Instagram [ID: @art_gallery_atlia]



X (旧 Twitter) [ID: @artatlia]



Facebook



川口市立アートギャラリー・アトリア

〒332-0033 埼玉県川口市並木元町1-76

【開館時間】10:00～18:00(最終入館17:30)

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、施設整備期間

【TEL】048-253-0222 【FAX】048-240-0525

【Mail】info@atlia.jp



https://atlia.jp/



駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。
JR川口駅(京浜東北線)東口より徒歩約8分

編集後記

冷たいアイスが美味しい季節になりましたね! 外の暑さに疲れたら、アトリアで展覧会を見てほっと一息つきましょ。みなさんのお越しをお待ちしています。

ATLIA NEWS for TEENS
編集:高田純嗣、武井智子、宮澤和気
デザイン:MO BETTER DESIGN
発行日:2025年7月1日
発行:21世紀文化芸術研究室グループ

Collecting a Sky

風景を渡る糸

7月19日(土)～8月24日(日)

入場無料

企画展「Collecting a Sky - 風景を渡る糸 -」

本展では、日本とアメリカのテキスタイル作家、小林万里子氏とアンドレア・マイヤーズ氏による共同制作作品を紹介します。両氏は2025年開催の大阪・関西万博に向け、渡り鳥をテーマにした大型作品を制作しており、その過程の一部が川口市にあるスタジオを拠点に進められました。

テーマとなる「渡り鳥」は、国や地域を越えて移動する生き物であり、人と人、文化と文化をつなぐ象徴でもあります。作品には、川口市内から集められた古着や布が用いられており、持続可能性や素材の再利用といった視点も含まれています。

また、制作現場となったスタジオがある川口市芝地区は、かつて繊維産業が盛んだった地域でもあり、地域の歴史と現代アートの接点を知る機会としてもご覧いただけます。

展示にあわせて、作品制作の一端を体験できるワークショップや、アートと現代社会をテーマにしたトークイベントも開催予定です。

アートを通して自然・社会・地域産業にふれ、自ら考えるきっかけとなる本展に、ぜひご参加ください。



スタジオ(旧製糸工場)での制作風景

共同制作のきっかけ

本プロジェクトは、日米クリエイティブ・アーツ・フェロシップをきっかけに、アメリカの作家アンドレア・マイヤーズ氏から小林万里子氏へオファーがあり、共同制作が実現しました。2025年の大阪・関西万博では、渡り鳥が太平洋を渡る途中に立ち寄る貴重な自然環境の地として、万博会場の持つ意味にも注目し、自然と共生する視点を作品に込めています。両作家がそれぞれの表現を生かしながら、新たなスタイルを編み出していくプロセス自体が、国を超えた交流のかたちとして展開されています。

制作・設営風景



作品名「予兆 - 沈黙の春を超えて-」(2025) (大阪・関西万博にて展示)
左: アンドレア・マイヤーズ氏、右: 小林万里子氏

作家紹介

小林万里子氏は、「Art Week Tokyo」や「中国・Powerlong Museum」など、国内外のグループ展に多数参加。近年では「三島満願芸術祭」「FUJI TEXTILE WEEK」などの芸術祭にも継続的に参加し、地域との関わりを重視した活動を展開。布・糸を使った作品を軸に、自然循環、生命讃歌をテーマとする。「VOCA2025-新しい平面の作家たち」で奨励賞、台湾の「ONE ART AWARD」最優秀賞など、国際的な受賞歴も多数。東京ミッドタウン・アワードやイタリアでの受賞経験も。様々な商業施設・企業との大型のコミッションワークも多数手がける。近年、活動はギャラリー展示にとどまらず、地域・教育・国際協働へと広がっている。



「熱と水」(2018)

アンドレア・マイヤーズ氏は、米国を拠点に活動するテキスタイル作家。スプリングフィールド美術館(2024)やドイツ・ベルリンなどで個展を開催。インディアナ大学やハモンド・ハーキンス・ギャラリーなどでの展示も継続的に行う。グループ展ではアクリル美術館やカナダのArt Torontoなど国際的に参加。「色」「反復」「素材の重なり」を特徴とした、立体作品やインスタレーションも手がける。オハイオ州芸術評議会やFrey財団などから多数の助成・賞を受賞。アーティスト活動は教育・地域と密接に関わり、教育助成にも実績を持つ。作品は米国大使館、医療機関、銀行などのパブリックコレクションに収蔵。近年はアーティスト同士の国際共同制作にも積極的に取り組む。



「Out of the Blue」(2019)



企画展

Collecting a Sky - 風景を渡る糸 -

入場無料

日時 7月19日(土)～8月24日(日)

開館時間 10:00～18:00 (最終入館 17:30)

休館日 7/22(火)、7/28(月)、
8/4(月)、8/12(火)、8/18(月)